

# 第1回日本医療研究開発大賞について

## 1. 趣旨

我が国のみならず世界の医療の発展に向けて、医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関して、功績を称えることにより、国民の関心と理解を深めるとともに、研究者等のインセンティブを高める。

## 2. 大賞の概要

### ・内閣総理大臣賞 1件

極めて顕著な功績があったと認められる事例

### ・健康・医療戦略担当大臣賞 1件

特に顕著な功績があったと認められる事例

### ・文部科学大臣賞 1件

科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例

### ・厚生労働大臣賞 1件

社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例

### ・経済産業大臣賞 1件

経済及び産業の発展の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例

### ・日本医療研究開発機構（AMED）理事長賞 数件程度

若手研究者（45歳未満を目安）を奨励する観点から顕著な功績があったと認められる事例

## 3. 選考及び受賞者

関係3省及びAMEDから推薦のあった事例に関して、選考委員会（下記）の選考を経て受賞者を決定。

菊地 眞	公益財団法人 医療機器センター 理事長
瀧澤 美奈子	科学ジャーナリスト
中尾 浩治	前日本医療機器産業連合会 会長
永井 良三（主査）	自治医科大学 学長
畑中 好彦	日本製薬工業協会 会長
福井 次矢	聖路加国際病院長、聖路加国際大学 学長
横倉 義武	日本医師会 会長

※五十音順、敬称略